

一般質問 通告一覧

○望月 弘幸議員

- 1 雪対策について
- 2 教育行政について
- 3 経済対策について

○佐藤 正夫議員

- 1 施政方針と自立計画書について
- 2 残雪対策について
- 3 担い手育成について
- 4 水枯れ対策について

○山崎 一郎議員

- 1 新年度重点施策と予算について
- 2 教育問題について
- 3 公共サービスの民間開放について
- 4 農地の荒廃対策について
- 5 新幹線開通見直しにつ

○高橋 正治議員

- 1 新年度予算案について
- 2 補正予算案について

○小林 初子議員

- 1 安全・安心なまちづくりについて
- 2 モットー「イナイ」運動の展開について
- 3 格差社会問題について

○沼田 喜一議員

- 1 平成18年度予算について
- 2 浅川ダム代替案について
- 3 ショッピングセンターについて

○渡邊 吉晴議員

- 1 新幹線駅前整備計画について
- 2 新クリーンセンター建

- 設について
- 3 千曲川の治水対策について

○西條 豊致議員

- 1 水防について
- 2 今年の豪雪災害について
- 3 残雪対策について
- 4 CATVについて

○大塚 武志議員

- 1 豪雪災害対策について
- 2 農業振興対策について
- 3 新幹線トンネル出水による水枯れ対策について
- 4 子育て支援について
- 5 中学校の統合問題について
- 6 総合福祉センター移転について
- 7 クリーンセンターについて

○小林 洋之議員

- 1 新規投資事業について

- 2 受益者負担の見直しについて

○久保田 幸治議員

- 1 除雪費用等が地域経済にもたらす波及効果について
- 2 市事業の民間委託について
- 3 子育て支援、このとり支援事業について
- 4 新クリーンセンター建設促進について

○田辺 謹治議員

- 1 飯山市自立のための計画書と平成18年度予算案について
- 2 北陸新幹線について

○小林 喜美治議員

- 1 新年度予算案について

○坪根 繁喜議員

- 1 平成18年度予算案に

- 係る「新ごみ処理施設の建設計画」等について
- 2 (有)飯山堆肥センター問題について
- 3 廃棄物対策と「県の廃棄物条例」について
- 4 総合福祉センターの建設等について
- 5 飯山赤十字病院運営協議会の役割について

○大野 峰太郎議員

- 1 千曲川治水について
- 2 総合福祉センター移転整備事業について

○水野 晴光議員

- 1 平成18年度予算について
- 2 防犯協会の強化について
- 3 新クリーンセンターについて

○水野 英夫議員

- 1 自立計画について

活動報告

○社会文教委員会 飯山市ふるさと館 視察

3月21日の開館にあわせて、オープニングセレモニーに委員全員が出席し、建物の概要・建設経過等の説明を受け、館内見学を行いました。

子ども達が、ふるさと飯山の成り立ちや生活文化の歴史、先人達の暮らしや偉業等を学び、学習出来る資料・情報が集積されました。今後、大いに活用してほしいと思います。

又、飯山に関する様々な情報・資料が、市民の過去を学び未来に発信していく為の拠点と成りうる施設と考えます。

一度足を運んでゆっくり見学されると良いでしょう。

○北陸新幹線・糸魚川駅の駅周辺整備計画状況の行政視察

北陸新幹線等交通対策特別委員会
委員長 坪根繁喜

一市二村の広域合併も破綻し、自立の道を歩みはじめた厳しい飯山市の今日的状況の中で、新幹線・飯山駅周辺整備計画が進められています。

平成17年には、整備計画の基本ともなる都市計画街路等の決定を受けて、現在は飯山駅周辺土地区画整理事業(事業費約65億円)の認可手続きが進められています。

このような状況の中で、私たち委員会は、同じように整備計画を進められている糸魚川市を主に、新黒部駅予定地、金沢駅舎の行政視察を行ってまいりましたので、「市議会だより」の枠の範囲で報告いたします。

まず糸魚川市であり、新駅は、JR糸魚川駅に併

設されます。

整備手法の基本は、区画整理手法ではメリットがないので、買収・補償方式による街路整備手法とされています。

担当者の説明により、商店街に面したJR現駅と新幹線駅の二つの顔ができることになるため、既存商店街への十分な配慮が必要とのことでありました。

したがって、駅周辺施設の在り方については、

① JR現駅(北口)を主要な広場として5000㎡に拡張。

② 新幹線駅広場(南口)は2972㎡。

③ 南北自由通路は幅員6m、延長115m。

④ 新南口の街路は幅員23m、延長261m。

⑤ 南北を結ぶ連絡新幹線道路は幅員16m。

何とも単純・簡素な計画であります。

新黒部駅は、水田の中に3haの大規模な整備計画を立てて、長期滞在型駐車場整備を目指しています。

金沢駅は、現駅東に東広場がすでに整備済みであり

ます。

以上であります。計画及び実施に当たっては、合理性はもとより、地権者、市民全体の合意形成が最も重要であります。

そのためには、まちづくりの基本理念の基にそれぞれの役割や責任を明確にして取り組むことの大切さを学んできたところであり、

以上で報告を終わりますが、責任の重大さを学んだ行政視察でありました。

(編集後記)

3月議会は初めに木内市長より18年度の施政方針が説明された後、近年では初めての、正副議長を除く17名全員が一般質問に立ち、活発な意見、質問が出されました。

新年度予算をはじめ、雪対策、クリーンセンター、総合福祉センター、自立計画、新幹線、中学校統合について等が、主な質問内容で、それぞれについて市長等から答弁をいただきました。また、今議会では90に上る議案を3常任委員会に振り分け審査しました。

今年度予算は昨年比8億円増の151億円が計上されましたが、自立元年として大変重要な年でもあります。都市部においては好景気とはいえず、地方においては景気低迷と過疎化の中、飯山市の将来を見据えて、予算付けの選択と集中、そして夢のある地域づくりがさらに求められていくと思われまます。

市民の皆さんのご意見をお待ちしております。

議会だより編集委員
水野 英夫



新黒部駅建設予定地